

第36回全国消防殉職者慰霊祭が執り行われました

第36回全国消防殉職者慰霊祭が、9月14日（木）日本消防会館 ニッショーホールにおいて、内閣総理大臣代理野上内閣官房副長官、野田聖子総務大臣等のご臨席のもと、厳かに執り行われました。

日本消防協会旗の入場、開式の言葉の後、秋本会長の「御霊の奉納」の儀、黙祷、秋本会長の式辞、追悼の言葉、献花、江戸消防記念会の鎮魂の歌「木遣り」が行われ、最後に秋本会長のお礼の挨拶があり、滋賀県協会の植田副会長の閉式の言葉で式典が締めくくられました。

本年は、長野県防災ヘリコプターの救助訓練中の事故による殉職者を始め15名の方が新たに合祀されました。

本県からは、ご遺族代表者7名と会長及び事務局職員が参加し、先人の遺徳を偲び、感謝申し上げるとともに、施設の充実や訓練の徹底などに尽力し、再び殉職者を出さないよう全国から参加されたご遺族や協会役職員一同決意を新たにいたしました。





献花



木遣り